



学校だより

# わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

№30

令和4年2月18日

## 避難訓練を実施しました

2月15日(火)の業間に、避難訓練を実施しました。今回は、避難訓練の開始時刻を告げずに、休み時間に大地震が発生し、その後、火災が発生した場合を想定して訓練を行いました。ほとんどの子どもたちは、放送をよく聞いてそれぞれの場所からすばやく避難行動ができていましたが、運動場に集合してから少し話し声が聞こえてきたのは残念でした。地震はいつ発生するかわかりません。自分で考え行動できるよう、訓練を積み重ね、防災意識を上げていくことが大切になります。最後に、自分の命は自分で守ることを確認し、「命を守ることの大切さ」を心に刻みました。



## 6年生 食育「健康的な食べ方を考えよう」

2月10日(木)の3限に6-1, 4限に6-2で担任と北川栄養教諭による食育の授業がありました。まず、紙芝居を見て生活習慣病の怖さを知り、予防するためにはどんなことに気をつけたらよいか意見を出し合いました。次に、油、砂糖、塩分を多く含む加工食品にはどんなものがあるか、とりすぎるとどんな病気になるかや、野菜をたくさんとることが大事であることを確認して1日の適量について考えました。



また、クイズ形式で普段よく食べる加工食品に含まれる油の量について、その量が多い順に並べ替えました。最後に今日の授業で学んだことや考えたことをプリントにまとめました。食生活に関係して起こる生活習慣病について理解し、健康を考えて食事をとることが大切であることにあらためて気づくことができました。



# 6年生 出前授業「発電のしくみ」



2月8日(火)の6限に6-1が、9日(水)の3限に6-2が、理科の授業の一環として、三重県地球温暖化防止活動推進センターの落合さんと吉田さんから「電気はどこからやってくる!？」というテーマで出前授業を受けました。水力発電や火力発電、原子力発電など様々な発電所について、その種類としくみを学んだり、つくられる電気

の量や電気をつくるための燃料などに関して、そのメリットとデメリットを考えたりしました。また、手回し機器で電気を起こす実験をしてLED電球、蛍光灯、電球を点灯させるための電力量が一番必要なのはどれかを体験しました。電気は便利ですが、使い過ぎると地球温暖化につながります。生活の中で自分にできることは何かを考えるよい機会となりました。最後に学んだことを各自がワークシートにまとめて、学習を振り返りました。



## みえスタディ・チェックに挑戦しました

2月17日(木)に、5年生がみえスタディ・チェックに挑戦しました。今回から1人1台学習端末が整備された環境を生かして、設問を児童の端末に提供して、児童が端末上で解答する方法と、記述式問題を配付する解答用紙に記入する方法を併用して実施されました。終了後、子どもたちは、自分の端末ですぐに設問ごとの正解・不正解を確認でき、設問ごとの解説とアドバイスが提供されます。また、教員はすぐに自動採点・集計が行われることで、児童一人ひとりや学校、学級の強み・弱み、経年比較、どの問題でどれぐらいの児童がつまづいているのかを即時に把握できます。

子どもたちは、クロームブックに向かって最後まであきらめることなく取り組んでいました。テスト後には、学力の定着状況の確認を行い、学ぶ意欲の向上や学力の

向上の取組を進めていきたいと思えます。また、5年生

は6年生へ進級したらすぐ、全国学力・学習状況

調査を受けることとなります。しっかりと学力が定着し

ていくよう、学校でも、授業改善及び個に応じた指導の

充実を図っていきますが、それぞれが弱点を克服できる

よう、家庭学習の習慣も大切にしてほしいと思えます。

